

本部からのお知らせ

利用者さん向けに機能訓練業務がスタートしました



最初に「機能訓練とは」についてお話しますと、「運動機能の回復を主目的として行う訓練」(広辞林)と記載されております。地域生活を営む上で必要な身体機能・生活能力の維持・向上などを目的として利用者の方に機能訓練、トレーニングを実施することにより運動機能の維持や向上を図り、できる限り自立した生活を送れるようにすることを目的に行われています。

実際に外傷や疾病直後に行われる急性期リハビリは病院等の医療機関で行われ、心身の機能・能力回復などが主体ですが、機能訓練は運動器を主体にADL維持や向上を主目標とし、平行棒歩行、階段昇降、ステップ運動、立ち座り、口腔体操、車イス自走、手指運動、足踏み、上肢・下肢関節屈伸、四肢マッサージ、筋力強化(重り、ボール)、バランス訓練、姿勢調整(側弯症、円背等)、立位保持練習等を行います。理学療法士、作業療法士、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、看護職員の資格を有する者が業務にあたっています。

『機能訓練』の『機能』の捉え方

1. 原疾患による機能障がい(片麻痺・運動失調など)
2. 二次的障がい(廃用性症候群など)
3. 合併症
4. 生理的条件(年齢による老化など)

例：脳血管障がいの方の歩行が出来ない理由について

- ① 脳血管障がい後遺症が重度の為→原疾患による機能障がい
- ② 足関節拘縮の為→二次的障がい
- ③ 健側も含めた筋力低下の為→二次的障がい
- ④ 重度な心・肺疾患等の為→合併症
- ⑤ 老化による体力低下の為→生理的条件

一例で機能障がいとはなぜ起こるのかを考えてみると、左表の1~4が影響してきます。これにより②の足関節拘縮に対しての関節可動域運動やストレッチの実施、また③の筋力低下に対しては下肢の筋力トレーニング、荷重バランス運動等を行います。また④の重度な心・肺疾患のために歩けない方に対しては合併症が悪化する場合がありますので、医療機関に機能訓練の必要性の有無を確認します。

本年5月より法人内各施設に訪問して順次、利用者さんへの機能訓練をスタートしました。各施設における利用者ニーズは様々ですが、現在は個別訓練として、歩行や立位訓練、姿勢調整、上下肢動作、関節可動域運動を行い、集団訓練としてストレッチと負荷抵抗運動を含む体操を主体に行っております。すでに他所で機能訓練を行っている方には、同じ訓練を継続し新たな必要事項も追加していきます。また新規に始められる方には、個別評価後に訓練プログラムを作成し、個別訓練や集団体操に参加して頂いて身体状況を確認することで機能訓練の必要項目が少しずつ分かってきます。定期的に運動を行う事は心肺機能の安定化や姿勢保持等、体に対してとても大切な事なので習慣化の定着を図り利用者の方の健康面への寄与に注力していきます。

参加者のご様子ですが、学園の利用者さんは機能訓練や体操などで身体を動かすことがほとんどないので、皆さん楽しそうに取り組んで頂いています。身障デイの利用者さんは機能訓練を経験されている方が多いのですが、訓練から遠ざかっていた方も多く「やっぱりやらんといかん…」「身体を動かすきっかけになった」「このような訓練の仕方は知らなかった」などの感想があり、皆さんに喜んで頂いています。

今年度は初年度でもありますので、機能訓練を希望される利用者さんに一巡できるようにし、個別や集団プログラム作成を行い、それぞれ担当職員の方と情報共有し、支援サービスの向上につなげたいと考えています。この取り組みが利用者の方の皆さんのお役に立てれば幸いです。
(本部医療的ケア：奥村 栄浩)



伏見エリアTOPICS

休日を利用してワークショップをおこなっています



イベントです。当日は、多数の利用者さんが参加され、境内にあるアート作品を眺めたり、ストリートダンスやネイルアート等の体験



京都市ふしみ学園では、今年度からワークショップを始めました。休日を利用して普段とは違う企画やイベントを毎回考えて実施するものです。第1回は、5月にフラワーアレンジメントを行いました。

2回目となる6月ですが、哲学の道にある安楽寺で開催された『アートピクニック2013』に利用者の方と一緒に出かけました。アトリエやっほう!!も参加したこのイベントは、一般・施設問わずに様々な雑貨や食べ物の販売、ダンスや水彩画・工作などのワークショップ体験があり、期間中は哲学の道を散策される方も多く立ち寄られる

をしたり、素晴らしい庭園を眺めながら美味しい食事を食べたりして、普段のお仕事をする環境とは異なり、ゆったりとした時間が流れる中で1日を過ごしました。散策の途中で雨が降ってきましたが、終わった後は「ダンスが楽しかった」、「食事がおいしかった」など様々な楽しかったとの声が聞かれました。また、今後も楽しく活動できる企画を色々と考えて、ワークショップを実施していければと思います。(京都市ふしみ学園：松井 崇)



「アトリエやっほう」のFacebookを開いたしました

今後は、作品紹介・商品紹介、並びにイベント情報を掲載していく予定です。

facebook

京都市ふしみ学園アトリエやっほう!!では、「**アールブリュットは今パート1 ふしみから8プラスαのアートの風**」と称し、京都府綾部市にあるギャラリーきりん舎にて下記の期間、作品展示・販売会を実施しています。遠方ではございますが、お休みを利用して足を運んでいただければと思いますので、よろしくお願いたします。

会期 平成25年6月29日(土)～7月14日(日)
11:00～17:00(木曜日休館)

山科エリアTOPICS

すこやかファーム2年目の展望

京都市やましな学園では、昨年度から「農業体験すこやかファームおとわ」とさんと契約して、色々な野菜作りに取り組む農業体験をしています。場所は、やましな学園から東へ1キロ程行ったところにあり、広大な敷地を分けた全50区画ほどを園主さん指導のもと、それぞれの入園者が農業体験をするというシステムになっています。福祉施設で農作業というのは一般的に耳にすることの多い活動かと思いますが、私たち職員ほぼ全員が農業に関して素人という状態で始めた農業体験は、新鮮さや喜びばかりではなく様々な苦労や失敗などもありました。昨年度は右も左もわからない状態で始めた農業体験でしたので、職員としては毎日が模索の日々。作物の出来にバラつきがあったり、ご利用者の方々に待ってもらった時間が長くなったりと紆余曲折がありました。そんな中でもとても意欲的に取り組まれ、野菜の収穫場面にはご利用者の方々の嬉しそうな様子が見られたのは職員にとっても収穫でした。また、そのように収穫した野菜を毎週火曜日に開催している「新鮮野菜朝市」の店頭で並べると、地元の方やご利用者のご家族が積極的に購入して下さることもあり、売れ行きが好調だったことも嬉しい経験でした。今年度は農園に足を運ぶ頻度や活動にあてる時間など、取り組み方のポイントが少しずつ分かってきたことで、ご利用者の活動内容、野菜の出来映え共に去年より充実してきています。今後は、更なる収穫量の増加と品質の向上、現在試作中の「乾燥野菜」の商品化を目指し、ご利用者の皆さんにも楽しんでもらいながら取り組んでいきたいと思っています。

(京都市やましな学園 生活介護事業：東海林 勝)

天の川に願いを

京都市山科身体障害者福祉会館では、七夕を目前に控えた6月29日(土)、ロビーへの笹の設置を行いました。地域との交流としてしっかり定着したこの取り組みですが、日曜日を挟んだ月曜日の朝には写真のようにたくさんの短冊が笹にくくりつけられていました。



短冊に書かれた願いごとに目を通してみると「くまモンに会えますように☆」、「ぴあのがじょうずになりますように」、「がかなれますように」などのかわいい内容が見られ、思わず笑顔になってしまいます。こんな地域とのつながりっていいなあっていつも思います。笹は7月7日(日)まで設置していますので、山科エリアの職員さんや他エリアの職員さんも、お時間・機会があればぜひ短冊に書かれた願いに目を通し、ご自分の願いごとを短冊にしたためてみてはどうでしょう。ちょっと童心に帰ったような気持ちになれると思いますよ。

(京都市山科身体障害者福祉会館：南出 陽)

洛南エリアTOPICS

「地域ふれあい夏祭り」の季節が近づいてきました

毎年夏の恒例行事となりました“地域ふれあい夏まつり”が今年も洛南エリアを含む周辺5施設合同で行われます。今年の見玉は“地元のお店屋さんコーナー”です。

京都市洛南身体障害者福祉会館の建つ吉祥院・唐橋学区では、古くからの商店が多く存在します。近年は大型ショッピングセンターの進出などで数は減りましたが、今でも地元で根ざしているお店屋さんが多くあります。今回こうしたお店さんのコーナーを作ることで、地域の良さを再発見していただくと共に、参加者それぞれが地域の一員として更なる繋がりをもてるようにという趣旨から企画いたしました。地元のお店屋さんからは、すでにカレーや焼きそばなどの出店のお話も頂いております。

今年のまつりの開催日は、7月28日(日曜日)午後4時からです。多くの方の笑顔に出会えますよう、エリア職員一同励んでまいります。(京都市洛南身体障害者福祉会館：久野 靖)

子育てサークルやんちゃあず

缶バッジ 100円

【模擬店からお願い】

- 缶バッジの希望者は、お気に入りの写真を1寸のほま、当口、ご持参ください。
- 紙の厚さによってははくできないこともあります。

その場合代金はあきらめさせていただきますが、写真はあきらめない場合があります。ご了承ください。

カブト虫 つがい 各200円
クワガタ つがい (ケース付きは300円)

17:30から販売

第13回 地域ふれあい夏まつり

日 時 平成25年7月28日(日) 雨天決行
午後4:00～7:30

会 場 洛南身体障害者福祉会館、洛陽児童館、南老人福祉センター
ふれあいサロン“みなみ”、洛南障害者授産所

チケット 1セット1,000円(富くじ付 50円×20枚綴り)
1セット 500円(富くじなし 50円×10枚綴り)
※共に当日券有り(500円券)

販売所 洛南身体障害者福祉会館・洛陽児童館・南老人福祉センター

主催 地域ふれあい夏まつり実行委員会
(洛南身体障害者福祉会館、南老人福祉センター、ふれあいサロン“みなみ”、洛南障害者授産所、京都市中區障害者地域生活支援センター「らくなん」、すざなハウス、洛陽児童館)

共催 吉祥院民生生活委員会、吉祥院社会福祉協議会、京都府身体障害者協会、(株)京都市身体障害者福祉センター、吉祥院交流対面協議会、吉祥院少年補導委員会、吉祥院防犯推進委員会、吉祥院消防分団、吉祥院保育園、吉祥院小学校PTA、洛南中学校、子育てサークルやんちゃあず、NPO法人京都まっことはあとセンター、成徳堂、南西少年活動センター、日本ボイスカフ 京都第22回

後援 吉祥院日蓮蓮合会、南区社会福祉協議会、(毒)京都中央看護保健大学院

【駐車場】
自転車でお越しの方は、このエリア内にとめてください。

【交通機関】
市バス 6・7・8・202・208
JR 西大路駅下車 徒歩10分

ステージ

4:00～4:05	開会の挨拶	(佐藤幸子 夏祭り実行委員会委員長)
4:05～4:30	吹奏楽演奏	(洛南中学校吹奏楽部)
4:35～5:05	集団演舞	(洛陽児童館 学童クラブ)
	和太鼓	(ポランティアサークル らくよう)
5:10～5:15	ダンス	(ジョイ・オブ・ダンス)
5:20～5:50	コーラス	(南老人福祉センター)
	フランス	
5:50～6:10	活動紹介	(京都市手話学習会「みみずく」)
6:15～6:50	ジャグリング	
7:00～7:25	富くじ抽選	
7:25～7:30	閉会の挨拶	(竹内竜也 洛南障害者授産所 所長)

平成25年度 第1回 洛南エリア研修会を行いました



洛南エリアでは毎年度職員のスキル向上と交流を目的としてエリア研修会を実施しておりますが、去る6月24日(月)に京都市洛南障害者授産所にて今年度第1回目の研修会を行いました。4月に異動や採用で新たに洛南エリアに配属になった職員も多いことから、研修会の前半は各施設10分の持ち時間内で施設紹介を行いました。同じエリアの職員同士が顔を合わすことは多くても、各施設の行っている事業内容を細かくは知らないという職員も多く、また、この1年の間に新たに取り組み始めた事業や課題などは、長くエリアに勤めている職員でも知る機会が少なかったと思います。そ

うしたことから、各施設から取り組みなどの紹介を行い、参加した職員も事業内容や課題などを聞くことで、あらためて洛南エリアにある各事業所について深く知ることができました。

後半は“5年後の自分について～仕事を通じた夢や課題など～”のテーマでグループワークを行いました。ひと口に“5年後”と言われても、なかなか漠然としてイメージがつきにくい中、それぞれのイメージする5年後や、5年前を振り返る中での5年後のイメージを想像し、それぞれの思いを語ることで、職員相互の交流が深まりました。今回の研修により固まった結束を発揮して、洛南エリア全体で利用者支援の質の向上へ繋げたいと思います。(京都市洛南身体障害者福祉会館：久野 靖)

リレー寄稿「法人理念に寄せる随想」①⑥

京都いたはし学園
主任 河村 剛士

京都いたはし学園が開所し5年が経過しました。「就労支援」というのは、困難さもあるものの非常に達成感のある仕事だと感じています。利用者方の面接結果に一喜一憂し、施設から企業へと巣立って行かれる姿を見る時は、支援させてもらえたことを本当に幸せと感じます。一般就労に関しては、その良し悪しについて議論されることも多く、就労後の支援の方がより大変な面も確かにあります。しかし、企業で働かれている皆さんを見ると「障がいがあっても働ける」ということをご自身で証明されているような、そんな感じがします。責任も大きく、当然良いことばかりではないですが、とても尊い仕事だと思っています。

今でこそ、このように感じていますが、私は元々福祉の仕事を目指してはいたわけではありません。学生の時などは関心すらなかったように思います。福祉の仕事に興味を持ったきっかけは、幼児体操教室のアルバイトをしていた時に、耳の聞こえない女の子に出会ったことでした。たまたまその子の担当になった私は、1対1で丁寧に教えてあげようと手取り足取り教えてあげていました。ある日、グループで体操をすることになった時、私は説明が聞こえないその子の事をとても心配しました。しかし、彼女は他の人が体操をする様子を必死で観察し、同じように体操をしていました。当時は「ストレングス」という言葉も知りませんでしたが、グループ活動にもすぐに溶け込んだその子を見て、その子の持っている力に気付かされました。私はその子の不自由さを補ってあげておくことを考えていましたが、それは大きな間違いでした。

この時の経験もあり、障がいのある方への支援に興味を持った私は、知人の紹介で、養護学校で働くことになり、体育の授業を中心にたくさんの生徒と関わりを持ちました。強度行動障がいのある生徒、医療的ケアの必要な生徒、就職を考えている生徒、普通校から転校してきた生徒…。色々な障がいがあることを知り、課題や悩みを皆抱えていることを知りました。高等部で進路に迷うある生徒は「行く所がない」と言いました。また、「行きたい所もない」とも。彼らに対する社会の間口は狭く、与えられた選択肢もわずかでした。何も知らなかった私にとっては衝撃的でした。

今、この仕事をしていると、企業の方から「障がいのある人がこんなに働けるって知らなかった」「学生のアルバイトよりも仕事をしてくれる」と言われることがあります。障がい者就労の拡がりや、雇用率によって成されるものではなく、理解者が増えることによって成されるものだと切に思います。どこの会社でも障がいのある方が働いているような、街を歩いていると働かれている姿をよく見かけられることができるような、そんな社会になって欲しいと思います。そのための一助になれるよう、日々、仕事をしていきたいと思っています。

今回は、生活サポートセンター「らいと」の北川 貴啓 所長代理です。

基幹型相談支援センターの取り組みについて

今年4月から毎月1回、市内5か所の基幹型相談支援センターによる会議を行っています。今年度の中心議題は、指定特定相談支援事業所に対する研修についてです。その趣旨は平たく言えば、計画相談支援を担う事業所を増やしていくことと、相談支援専門員のスキルアップです。

ご存じのように、平成24年度施行の改正障害者自立支援法から、障がい児・者に係る相談支援体制の強化と、計画相談支援事業の対象拡大が図られることになりました。その中身は、障がい福祉サービスを申請した全ての障がい児・者を対象として、サービス等利用計画の作成が必要となり、計画を根拠としたサービスの支給決定がなされるというものです。これまで通所施設などで作成していた個別支援計画とは異なり、生活全般にわたる計画で介護保険制度におけるケアプランをイメージして

いただければいいかと思えます。市内での計画作成対象者は、おおよそ8800名ほどになると言われています。計算上ではおおよそ350カ所ほどの指定特定相談支援事業所が必要とされていますが、実際に準備ができているのは、委託を受けている市内15か所の障害者地域生活支援センターを含めても未だに約1割ほどです。この制度自体は24年度から3年間の経過措置があるというものの、今年はその2年目でもあり、その期限が迫ってきています。



現状ではなかなか厳しい状況ですが、基幹型相談支援センターが行う研修が、こうした事態の前進に少しでも寄与できればいいなと思っています。

理念としてみれば、障がい福祉サービスを受けるすべての障がい児・者に対してきっちりとしたケアプランが作成され、それぞれに担当者がいるということは、とても心強いことだと思います。これまで時折みられた、一人の障がい当事者を多くの関係機関が取り囲み、「それに関しては〇〇が担当でしょう」「それはうちの責任じゃないですよ」等々の利用者を置き去りにした不毛なやりとりを聞いたたびに、一人ひとりにケアプランがあり、その作成担当が決まっている責任主体が明確な制度が早くできればいいなあと思っていました。そういう意味では、個人的にはこの制度はとても喜ばしいのですが、計画作成者の絶対数が揃わないままでの施行や、一部の介護保険分野でみられるケアプランの形骸化等に陥らないか。そうした不安も多くあります。

理想を現実化していく、まさに今がその過程です。そこで少しでもいい仕事ができればいいなと考えています。そのためには、障がい福祉サービス事業所の力がどうしても必要になります。確かに直接処遇のスタッフと相談支援のスタッフの職務内容は大きく違うことは確かですし、もちろん人それぞれ得意・不得意、合う・合わないはあると思いますが、ご利用者の生活全般に関わって計画を作らせていただけることは、やり甲斐があることだと思います。

今年度の京都府相談支援従事者初任者研修は定員の100名を超える応募があったと聞きました。それはこの制度への関心の高さを示すものでもあると思いますし、「制度ができたから、仕方なし…」ではなく、「生活全般に関われるチャンス」と考える方が多数受講して下さればいいなと思います。

(京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：中村 嘉男)

7月31日(水) 京都駅ホテルグランヴィアの夏祭りに、だいで学園が出店します

「大阪インターナショナル・ギフトショー」に京都府代表として出展させて頂いた際、立ち寄ってくださったのがご縁で今回 JR 京都駅ビル内にある「ホテルグランヴィア京都」様より、お声かけを頂き同ホテル主催の「夏だ！祭りだ！グランヴィアだ！2013」に出展させていただくことになりました。

3階イベント会場エスカレーターを降りたところの「おみやげコーナー」で販売させていただきます。

出店に向けて新作作りに取り組み、フラン(ふすま粉)や豆乳クリーム(低脂肪でこくがあるのに爽やか)を使用したクッキーやシフォンケーキが完成しました。皆さんに喜んで頂けるようがんばってPRしてきます。

**夏だ！祭りだ！
グランヴィアだ！
2013**

お子様
入場無料
(小学生以下)

近隣の皆様は、この機会にぜひ
お気軽にお立ち寄りください。

今年もお子様から大人まで楽しめる
ホテルグランヴィア京都の夏祭り開催！

イベント会場では「スーパーボールすくい」などの屋台がならび、
お食事会場ではホテル自慢のお料理が、ともに利用券で楽しめます。
また、ステージでは兄弟キッズジャグラーコンビなどのパフォーマンスも!!

日時 7月31日(水) 16:00 ▶ 21:00
16:00から20:30まで
ご入場いただけます。

会場 ホテルグランヴィア京都(京都駅ビル内)
お食事会場……3F 宴会場 イベント会場……5F 宴会場

料金

<p>抽選券付き 前売り券 お一人様(中学生以上) ¥5,000 (入場券・利用券 50GV)</p>	<p>抽選券付き 前売り券 お一人様 ¥6,500 (入場券・利用券 50GV・フリードリンク)</p> <p>先着500枚限定</p> <p>フリードリンクメニュー ※グラス交換方式 ・ビール・焼酎 ・ソフトドリンク(ウーロン茶/オレンジジュース/ グレープフルーツジュース)</p>
<p>当日券 お一人様(中学生以上) ¥6,000 (入場券・利用券 50GV)</p>	

※当日、会場では入場券とお引換の利用券(50GV/当日会場のみ有効)にてお料理や商品を購入いただくシステムです。
※料金はすべて税込です。
※小学生以下のお子様は無料でご入場いただけます。お子様のご利用券は館内にて販売しております。
※JR西日本ホテルズカード会員割引はございません。

※写真は全てイメージです。

協賛 京都市交通局/鳥取県西本郷/公益財団法人 関西盲導犬協会/(社)京都市身体障害者福祉センター 京都市だいで学園/一般社団法人 日本競輪選手会京都支部/
NPO法人 京ごころ/NPO法人 京都産産/有明社 ウィンズ/京都サンガF.C./株式会社 コールドスプリントジャパン/Tジョイ京都/ビックカメラ JR京都駅店/
京名品処みやこ/株式会社 サップス/写真室 ジェルムカイト/中国料理 六本木楼外樓/天麩屋 京林屋/山野愛子美容室 ※順不同

チケットのご購入・お問い合わせは 宴会予約係まで
TEL.075-344-1111

ホテルグランヴィア京都
〒600-8216
京都市下京区角丸通堀小路下ル JR京都駅中央口
TEL. 075-344-8888(大代表)
<http://www.granvia-kyoto.co.jp>